


## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

|  |               |   |       |
|--|---------------|---|-------|
| 所属名  | 浜田保健所         | 氏名  | 遠藤 由梨 |
| 派遣先<br>団体名   | NPO法人ちやいるどリーむ |   |       |
| <p>1. 研修の日時、場所</p> <p>平成26年8月25日（9時30分～12時）<br/>           9月9日（9時～17時）<br/>           9月10日（8時～16時30分）<br/>           11月6日（8時～16時）</p> <p>場所：江津市子育てサポートセンター<br/>           江津市立津宮小学校</p>   |               | <p>“子どもを産んでよかった”“子どもがかわいい”“子育てが楽しい”と思えるような子育て家庭を作っているよう、支援を行っている</p> <p>&lt;主な活動内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここにこの部屋（子ども同士、親同士が交流し学び合う場）</li> <li>・子育て総合窓口</li> <li>・「赤ちゃん登校日」</li> <li>・ファミリーサポートセンター（会員となった人が一時的な子どものお世話を自宅で有料で行うシステム）</li> </ul> |       |
| <p>2. 研修の内容</p> <p>「<u>赤ちゃん登校日</u>」にスタッフとして参加。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「赤ちゃん登校日」授業とは、赤ちゃんや赤ちゃんのお父さん、お母さんを学校へ招き、児童・生徒との関わり体験を持ち、赤ちゃんの成長や命の尊さを心と肌で実感しながら人間関係を構築するコミュニケーション（お互いの考えや気持ちを理解し合う）を学び人の愛情に気づくなど、参加者相互の気づきや学びがある授業</p> <p>赤ちゃんを抱っこする体験授業のみではなく、人間関係を構築するコミュニケーションを学び、人の愛情に気づく授業</p> |               |   |       |
| <p>&lt;講師&gt;</p> <p>高塚 人志氏（鳥取大学医学部総合医学教育センター 学部教育支援室 准教授）</p> <p>&lt;主催&gt;</p> <p>NPO法人ちやいるどリーむ、江津市子育て支援課、江津市教育委員会、江津市立津宮小学校</p> <p>&lt;関わり体験の内容&gt;</p> <p>1) 事前授業：基本的マナーやコミュニケーションの学習（9月9日）</p>  |               |   |       |
|   |               | <p>地域の関係者や保護者の方も大勢参観に来られていました。</p>  |       |
|  |               | <p>あいさつの仕方を高塚先生に習っている様子です。<br/>           他にも相手に関心を向けることや違う意見を否定しないこと等を教わっていました。</p>  |       |

2) 関わり体験1回目：事前学習のおさらい

プラスのストローク（やさしさをたくさん届けよう）（9月10日）



事前授業で学んだ“基本的なマナー”と“相手の目を見て、関心を向けて”を心掛けて、きちんとした姿勢で真剣にお母さんのお話を聞いていました。

3) 関わり体験2回目：表情の大切さと伝え方（10月10日）



自分たちで選んだ絵本を赤ちゃんに読み聞かせてあげていました。

最後に児童から赤ちゃんとお母さん・お父さんに感謝の歌とメッセージを送りました。

4) 関わり体験3回目：児童が課題を持って（11月6日）



自分で目標・課題を紙に書いて、それを意識して関わりをするようにしていました。



< NPO法人ちゃいるどリーむが実施しておられたこと（特に印象に残っているもの） >

事前準備

- 参加赤ちゃん親子の募集及び周知
- 津宮小学校で、校長、教頭、担任と今年度の児童の様子や力を入れたい事、授業のカリキュラム等を確認
- 当日の飾りつけの用意
- マット等必要物品の用意

普段の関わりを生かして、子育て中のお母さんに声をかけておられました

授業がより良いものになるように小学校の先生方との打ち合わせも実際に学校に出向いて、丁寧に行っておられました

何枚もあるマットを、一枚一枚丁寧に消毒しておられ、感染予防対策には特に注意を払っておられました。

授業中も赤ちゃん親子が安心できるように、フォローしておられました

関わり体験

- 赤ちゃん親子が座るマットの消毒、会場飾りつけ
- 赤ちゃん親子のフォロー（授乳室への案内等）
- 児童のフォロー
- 事後のカンファレンス（津宮小学校教員及び高塚講師）

授業と授業の間の期間も、赤ちゃん親子にお手紙を送付するなど、安心できるように配慮しておられました

授業がない期間

- 赤ちゃん親子へのフォロー

授業終了後のフォローも赤ちゃん親子に対しても、児童たちに対しても、しっかりされておられました

授業終了後

- 親子・キラキラコンサートの開催（赤ちゃん登校日に参加した児童による発表）
- 同窓会の開催（主に赤ちゃん親子）
- 写真の送付

児童へのフォローだけでなく、赤ちゃん親子へのフォローも切れ目なくそしてきめ細かく行なわれており、安心して授業が受けられるように配慮しておられるのがとても印象的でした



### 3. 研修の感想

#### 高塚先生の授業を受けて

自分の普段の人との関わり方を見直すいい機会になった。窓口等で住民の方と接する時は「住民の方と提出される書類どちらに関心が向いていただろうか」、「来られる住民さんに配慮している対応だったろうか」と考えさせられた。もし、書類ではなく、目の前の住民の方に関心が向いていればできるだけ負担がないような配慮や、労う声掛け等がもっと行えていたのではないかと思う。

“相手に関心を向ける”という当たり前にできていると思っても実はできていないコミュニケーションにおける基本的なこと、それを大事にして、もっと住民の方に寄り添ったサービスを提供していけたらと思う。

#### 関係機関との連携について

今回の授業には、派遣先である NPO 法人ちゃいるどりーむ、津宮小学校、高塚先生、その他地域の関係者と多くの人が関わっており、それぞれの強みを生かして本授業をよりよいものにしていただけたと感じた。

まず、NPO 法人ちゃいるどりーむは赤ちゃん親子への周知や連絡、当日の対応等、赤ちゃん親子が安心して参加できるようにきめ細かい配慮を行っていた。また、会場のレイアウトも工夫をし、授業の様子の写真を提示する、飾りつけをする等雰囲気づくりや、マットを一枚一枚消毒するなど衛生管理も行き届いていた。

つづいて学校では児童がどのようにすれば集中して授業を行えるか、様々な工夫をし、児童の力を発揮しやすいようにサポートしていた。また、本授業一回だけではなくその前後での教育も重要であり、そこにも力を入れていた。

ちゃいるどりーむだけでは授業の前後の教育を充実させることや、児童の強みを十分活かすことは難しく、反対に学校だけでは、赤ちゃん親子へのきめ細かい対応はできないと思われる。本授業は両者がお互いの強みを生かし、補い合いながら取り組んでいた。それに加えて地域の関係者が協力し、皆で補いながら授業をよりよいものにしていただけた。



私が仕事をする上で目指していることは住民の健康を守りそして幸福に生活できるような地域にしていくことである。住民に関心向けられていなければ住民にとっての幸福を知ることはできない、また私一人だけでも保健所だけでも幸福な地域づくりは到底できるものではないと思う。

住民の方が大事にしている価値観、生活している環境、抱えている背景、そしてどのようなことに喜び生きがいを感じて過ごしているのか等、まずは住民の方に“関心を向ける”。そしてどのようなことが必要とされていて、自分ができる部分はどこであり、足りない部分はどこの協力を仰げばいいのかを考え、“繋いでいく”。そうして、関係機関がそれぞれ行っている“点”である取組を“線”に“面”に“球体”にしていく。そうすれば私が目指す地域へ近づいていくのではないかと思う。

今後も、様々な機会を通して、住民の方や関係機関の方達を知っていき、協力しながら、“線”にしながら仕事をしていけたらと思う。

最後になりましたが、NPOちゃいるどりーむの皆様、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。今回学ばせていただいたことを今後の地域づくりの中で役立てることが一番のお礼になるのではないかと考えておりますので、学んだことを活かして日々励んでいきたいと思っております。誠にありがとうございました。